

# 愛荘町ボランティアセンターだより

平素は、ボランティア活動にご支援ご協力をいただきありがとうございます。  
ございます。

愛荘町ボランティアセンターでは、ボランティア登録者のみなさまにボランティア情報を送らせていただいています。今後とも愛荘町ボランティアセンターをよろしく願いいたします。

2017 年 2 月号  
NO. 6



## ボラセン運営委員会 視察研修に行ってきました

NPO法人  
篠原シニアネット

2月7日（火）、愛荘町ボランティアセンター運営委員 5 名と事務局で、野洲市へ先進地視察研修に行かせていただきました。

研修では、「NPO法人篠原シニアネット」さんの活動について代表の甘庶 裕之さんにご指導いただきました。篠原シニアネットさんは、退職後の男性を中心としたメンバーで活動されているグループです。地域のコミュニケーション不足解消のために立ち上げられ、課題解決のために、パソコン教室・高齢者サロン・清掃などのボランティア活動をされています。

運営委員からもたくさんの質問が出て、愛荘町ボランティアセンターの今後の活動の参考にさせていただきたいと思います。



## ★第4回ボランティアカフェ開催のお知らせ★

愛荘町ボランティアセンターでは、ボランティアがつながることができ、みなさまが交流できる場として、ボランティアカフェを開催します。第4回目は、しろ平さんにご指導いただき、家庭でもできる和菓子の作り方を教えていただきます！

ボランティアをされている方、ボランティアに関心のある方、ボランティア情報を知りたい方など、どなたでもご参加いただけます。ご参加いただける方は、愛荘町ボランティアセンターまでご連絡ください。

日 時：平成29年3月22日（水）13：30～15：30

場 所：福祉センター愛の郷

参加費：無料



## ボランティア活動をするにあたって…

# 事故防止・軽減のための 10 大ポイント！！



事故は防ごうとしても起きてしまう場合があります。しかし、心がけひとつで事故を未然に防いだり、程度を軽減することができます。事故防止を心がけ、楽しく、元気に活動しましょう♪

1. 体調が悪いときは決して無理をしないこと。  
「体調が悪いときは活動を見合わせることも重要です。」
2. 情報収集（事前の安全確認と日常点検）をしましょう。  
道具を使用する場合は、取扱説明書を確認すること、  
そして日常の点検をおこなうことが重要です。
3. 活動に適した服装を。  
活動される内容、気候、季節などを照らし合わせ、  
適した服装で活動されることが事故防止の近道です。
4. 自宅から出てから帰るまでが活動です。  
帰り道での事故も多く発生しています。
5. 活動には準備体操、柔軟体操を。  
急激に動くと思わぬケガをすることがあります。
6. 責任者の説明にはしっかり耳を傾けること。  
自分自身であらかじめ気づいていなかったリスクを確認する機会です。
7. 疲れを感じたら遠慮せずに休憩を。随時水分補給をしましょう。  
「疲れた」と感じる前に、「ちょっと疲れた」と感じたときに、  
周囲の人に遠慮することなく休憩をとりましょう。
8. 過信禁物。今の自分にできることをあらかじめ把握しましょう。  
「ここまでやって大丈夫」といった自己判断、過信は禁物です。  
周囲の人の判断を仰ぐことも重要です。
9. 特に足元に注意（転倒の防止）。  
実際に発生している事故全体の3分の2は転倒事故です。  
足元に注意を払っていれば、事故の3分の2は防げる可能性があります。
10. 周囲の方との協力、情報の共有を図りましょう。  
活動中、お互いに声を掛け合うことで、突発的なリスク回避にもつながります。

## ボランティア保険についてお知らせ

今年度（平成28年度）、愛荘町ボランティアセンターにご登録いただいている方には、ボランティア保険をかけさせていただいています。

次年度（平成29年度：平成29年4月1日～平成30年3月31日）も、引き続きボランティア保険をかけさせていただく予定です。次年度のボランティア保険への加入を希望されない方は、お手数ですが、愛荘町ボランティアセンターまでご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

愛荘町ボランティアセンター（愛荘町社会福祉協議会）

〒529-1313

愛荘町市731 町立福祉センター愛の郷

TEL 0749-42-7170

FAX 0749-42-7178

メール [ai-vc@aisho-syakyo.or.jp](mailto:ai-vc@aisho-syakyo.or.jp)

ホームページ <http://aisho-shakyo.or.jp/>

